

よねざわ

市議会だより



『未来を担う若い力 ～がんばる中学生～』第三中学校

平成24年3月定例会

CONTENTS

3月定例会の総括	2
代表質問	3
一般質問	10
米沢市議会に関する アンケート調査結果報告	12
常任委員会	15
予算特別委員会	16
請願・スポット・あしがき	18

4月8日(日)、春の淡雪の残る中、米沢市立第三中学校入学式が挙行されました。今年度は希望を胸に102名の新入生が入学しました。保護者に付き添われ校門をくぐる生徒の顔は、これから始まる中学校での新しい生活へ、期待に胸を膨らませた表情でした。式では校長先生の式辞、これからの決意をこめた新入生代表の「誓いの言葉」、生徒会長による「歓迎の言葉」に続き在校生合唱「明日という日が」の披露がありました。式の最中は緊張していた顔も、式後の初めての学級活動で担任の先生からの話に笑顔を見せていました。これからの3年間、学習に部活動に精一杯取り組み、充実したものにしてほしいです。

平成24年度

一般会計予算

3月定例会

2月27日～3月23日

334億2,000万円を可決

— 対前年比6.5%減 —



平成24年3月定例会は、2月27日から3月23日までの26日間の会期で開催しました。

初日の本会議は、今年で34回目となる恒例の「きもの議会」として開会しました。はじめに報告案件1件を了承、専決処分1件について承認、諮問案件1件について同意した後、市長から平成24年度市政運営方針の説明がありました。

2月29日と3月1日には、市政運営方針に対して、7会派の代表質問が行われ、議案40件及び請願2件を各委員会にそれぞれ付託しました。

2日には、米沢市の名誉市民であります福王寺法林氏の訃報に接し、市長が報告を行い、副議長が追悼の言葉を述べ、全員で黙とうを捧げました。その後、9名の議員による一般質問が行われました。

6日に総務文教常任委員会、7日に民生常任委員会、8日には産業建設常任委員会をそれぞれ開き、議案及び請願について審査を行いました。

5日と9日から15日までの間に、予算特別委員会を開き、補正予算6件については、5日に審査を行い、2件が修正可決、4件を原案どおり可決しました。また、平成24年度の各会計予算については、5日間にわたり一般会計予算（334億2000万円）を中心に、特別会計予算10件（205億1523万1千円）と企業会計予算2件（108億1228万9千円）のあわせて13件について審査を行いました。

12日の本会議では、予算特別委員長報告が行われ、「一般会計補正予算（第8号）」、「一般会計補正予算（第9号）」の両案の修正案を可決し、（仮称）まちなか歴史公園に要する経費の増額補正が減額され、他の補正予算4件を、原案のとおり可決しました。19日には、悪臭問題特別委員会を開き、当局からの報告を受けました。

最終日（23日）の本会議では、各委員長報告と悪臭問題特別委員長報告が行われ、平成24年度予算、副市長の選任などの議案35件をすべて原案のとおり可決しました。

また、請願2件については、採択1件、不採択1件となり、議員発議2件を原案のとおり可決し、3月定例会を閉会しました。



将来人口を踏まえた 持続可能な米沢市を目指して

いっしんかい 一 新会代表 海老名 悟 議員

行財政改革について

米沢市行財政改革推進市民委員会からの意見を受けて、市の人事評価をどのように改革するのか。

〔総務部長〕 今後の人事評価制度につきましては人材育成を主眼に、仕事に取り組む姿勢や成果に対して適正な評価を行い、昇任・昇格に反映させることで職員の意欲を引き出すシステムの充実を図ってまいりたいと考えております。

市が行う事務事業の収支や目的と成果、達成度合いなどをまとめた行政コスト計算書の導入と行政評価に関する市の見解は。

〔企画調整部長〕 市民満足度を高め、簡素で効率的な行政運営を推進していくためには、行政評価は重要なツールでありますので、ご指摘の事例も含めて現在の評価方法の改善を検討し、より効果的な手法を目指してまいりたいと考えております。

本市の小中学校の児童・生徒数は年々減少しており、この少子化傾向が今後も続くと予測される状況において、小中学校の適正規模・適正配置をどのように実施するのか。

〔教育長〕 米沢市立学校適正

規模・適正配置等基本計画につきましては、答申に基づき検討したうえで議会や市民の皆様計画に示し、最終的には平成24年度の中頃には策定して早い段階で該当地区にご説明したいと考えております。

行政機能や民間機能も周辺市町村と共有していこうとする定住自立圏構想について、市の見解は。

〔企画調整部長〕 今後のまちづくりを考えるうえで、各自治体がフルセットで生活機能を整備していくには限界がありますので、密接な関係のある圏域内での連携は重要になると考えており、同構想につきましましては引き続き研究課題とさせていただきますと考えております。

産業振興について

地元で頑張っている中小企業への支援策や将来を見据えた農業振興政策について、市はどう考えているのか。

〔市長〕 商工観光業における中小企業の安定した経営や規模拡大を支援するため、円滑な資金運用と調達を行う公的融資制度や信用保証制度などを活用してまいりたいと考えております。また、農業振興

については、農業の持つ多面的な機能や食糧供給の大事さを行政が認識して農業の経営安定化を図り、意欲的な農業者に対しては積極的な支援を行ってまいりたいと考えております。

防災対策について

東日本大震災から1年のこの時期に、自主防災組織の必要性を市民に訴えるべきだが、その必要性やコミュニティ防災力についてどう考えているのか。また、市の指定避難場所となっている小中学校やコミュニティセンターの防災機能の整備・強化をどうしていくのか。

〔総務部長〕 平成23年末現在の自主防災組織率は43・5%となっており、新たな組織結成に対し3・7万円の防災資機材の交付支援をしております。今後は組織結成後の防災指導や出前講座、防災訓練への支援などを継続して実施してまいります。また、食料や水・毛布・使い捨てトイレなどを2千人分備蓄しています。停電時の電源を確保する発電機は、高校などを除く市の避難所52ヶ所に配備する予定であります。次にコミュニ



防災拠点としてのコミュニティセンター
(中部コミュニティセンター)

ティ防災力を高めるため、学校・コミュニティセンターと地域との結びつきを作っていくような関係機関との連携を図ってまいります。

病院事業について

慢性的な医師・看護師不足や赤字体質を打開する解決策はあるのか。

〔病院事務局長〕 外来・管理棟の建物が築46年を経過し、老朽化のため早期の建替えが避けて通れない状況であり、市立病院のあり方を見直す機会でもあることから、人口推移と需要予測を見通した診療科目や病床規模・経営形態等について、市や外部の意見を入れて検討してまいります。



代表質問

魅力的で住みやすい 米沢市をつくるために

し せい
市政クラブ代表

わ が
我

つ ま
妻

と く
徳

お 雄
雄

議 員
議員

まちづくり推進のた
めに自治基本条例の
制定を

人口減少時代に入り、元気の
あるまち、魅力のあるま
ち、住みやすいまちには人が
集中してくる。地域の将来像
を自ら描き、地域の個性を活
かしたまちづくりを主体的に
進めていく自己決定、自己責
任の重さが拡大してくる。ま
ちづくりを、「誰が」「どの
ような仕組みや制度によっ
て」「どのように行なうて」
「市民の暮らしを豊かにして
いくか」という基本原則を定
めた自治基本条例の制定が必
要ではないか。

〔企画調整部長〕当面は、ま
ちづくり総合計画をもとに米
沢市協働推進条例などの施策
を根付かせることが重要課題
ととらえています。施策が定
着し、市民、市議会、市行政、
さらには市民団体や事業者等
のそれぞれの役割分担につい
て、相互にコンセンサスが図
られることが条例制定の前提
になります。解決すべき課題
も多く、引き続き研究してま
いります。

東日本大震災避難者
支援について

放射線量が健康に及ぼす影

響について、誰もはずきりし
たことが言えない中、自主避
難も含めて多くの方々が本市
に避難している。就労、住
居、学校、健康、コミュニ
ティーを一体的に支援する体
制を整え、避難者が孤立せ
ず、不安や後ろめたさを感じ
ないで、どこでも支援を受け
られる体制が必要である。ま
た、雇用促進住宅などの借上
住宅は、災害救助法に基づ
き応急仮設住宅として提供し
ており、借上げ期間は原則1年
で、県が認めた場合、入居期
間を入居許可の日から最長で
2年間延長できるが、現状か
ら考えると、この期間内に帰
るのは難しいことから、さら
に期間の延長が必要であるが
どうか。

〔総務部長〕2月23日現在、
本市で避難生活をしている方
は1219世帯で、3803
人となっています。1月25日
に東日本大震災による被災者
の受け入れが多い山形、米
沢、新潟の3市で、避難者の
不安をできるだけ少なくする
ために、仮設住宅の供用期間
の延長なども含めて、避難者
への配慮を求める要望書を3
市長が共同で政府に提出しま
した。

本市独自の支援として、雇
用促進住宅に係る駐車場の除
排雪の実施や、集会所の利用

料免除などを行なっています。
観光客誘致と滞在型
観光の推進について

東日本大震災の影響で減少
した観光客を呼び戻すため、
恒常的な誘客対策をとる必要
があるのではないかと。

〔市長〕本市は、東京首都圏
から2時間ほどという地理的
な利点や、盆地の中でさまざ
まな気候、景色に恵まれてい
ることから、観光物産協会を
初めとする関係機関と連携
し、まちなか歩き案内人によ
るまち歩きツアーの開催、観
光スポットをめぐる史跡めぐ
り観光バスの運行などを継続
して実施するほか、体験観光
をまとめたガイドブック作成
により、個々のニーズに対応
できる観光素材の発信などに
着地型観光をさらに進め、観
光客の滞留時間を長くする施
策を実施していきたいと考
えています。



史跡めぐりツアー『かねたん号』の
出発式の様子

請願・陳情の
提出方法

◎請願とは

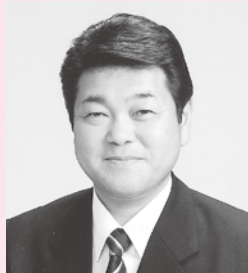
▼国や地方公共団体に意見や
要望を伝える方法の一つで、
地方議会に対する請願は、地
方自治法の規定により、1名
以上の議員の紹介により請願
書を提出することになってい
ます。

▼請願書が提出されると議長
はこれを受理して、直近の本
会議において所管の委員会に
付託します。委員会で結論が
出されたものは本会議で委員
長により報告され、その報告
を踏まえ最終的な結論（採択
か不採択など）が出されま
す。

▼採択された請願は必要に応
じ、その結果を市長や国の機
関等に送付いたします。

また、これらの審査結果に
ついては、請願書の提出者に
も通知いたします。

▼請願書は随時受付しており
ますが、定例会（3月・6月・
9月・12月）の召集告示日（定
例会開会7日前）の午後5時
までに提出されたものは、そ
の定例会で取り扱うことにし
ております。



代表質問

6年後の高速道路完成に 向けて・元気な農業のために

じみん 自民クラブ代表 えん 遠 どう 藤 まさ 正 と 人 議員



整備が進む東北中央自動車道
(米沢北インターチェンジ付近)

農産物の販売促進と 道の駅について

6年後の高速道路完成に向け、道路休憩施設等整備の進捗状況はどうか。

〔市長〕 昨年の3月末に山形県知事が東北地方整備局長に（仮称）米沢中央インターチェンジの連結許可申請を行ったことから、平成23年度栗子トンネル米沢側出口から米沢北インターチェンジまでの本線上への道の駅、もしくはサービスエリア設置について市内に検討委員会を立ち上げました。現在、国土交通省との設置の可能性について、年度内を目途に協議を行っています。

るところであります。今後、この協議の結果を受けて方針を決定し、東北中央自動車道福島から米沢北間の供用にあわせての休憩及び地域振興施設等のオープンを目指して、設置場所や事業主体、手法、規模等、事業の具体的な検討を行っていきたいと考えております。

道の駅施設等での農産物の販売や農家レストランなどの併設は。

〔市長〕 東北中央自動車道が完成しますと、都会から東北へ、東北から都会へと車が行き交いますので、本市を素通りするのではなく本市の物をお買い求めいただく、あるいは本市の農産物・食材を使ったレストランの設置が可能であればレストランで食事をしたいいただき、その上でこれらの産物や食べ物をつくっているまちにお客様が行ってみたいと思います、そこからまちなか観光につなげていけるようにしていかなければならないと思っています。

〔産業部長〕 本市では米沢の味ABCを初め、四季を通じて豊かな食材が生産され、また、すぐれた発酵食品もありますので、それらの食材を活用したレストランを道の駅に

併設できれば、多くの方々への情報発信が可能となり、物販とあわせて本市産業の活性化を図る上でも大変有効なものと考えております。

道の駅整備の可能性が見出されることになった時点で、食材の供給体制や運営方法、規模などの課題もありますので、生産者や関係団体と農家レストランの設置について可能かどうか、その時点で研究していきたいと考えています。

どぶろく特区について

どぶろく特区などで、元気な農業にできないか。

〔産業部長〕 特区の申請に当たっては、どぶろくをどのように活用し地域振興につなげるか、また、実施主体について関係する機関、団体と十分な協議が必要でありますので、今後の研究課題にさせていただきます。

松が岬公園南のNHK施設について

松が岬公園南のNHK施設の今後について。

〔教育管理部長〕 現在移転の計画は無いため、跡地利用については、市としては考えていないところであります。

◎陳情とは

▼請願と同様、国や地方公共団体に意見や要望を伝える方法の一つですが、陳情書の提出については法的根拠がないので、紹介議員は必要ありません。本市議会での取り扱い、本会議に提出するか否かは、提出者の意思を確認し、提出する場合は請願書に準じた取り扱いとし、提出しない場合は全議員に配布する取り扱いとしています。

なお、郵送の場合は、本会議に提出していません。

※請願書の様式は左記のとおりですが、請願書・陳情書を提出される方は、事前に議会議務局へご相談ください。

なお、提出方法等については、米沢市議会のホームページからも確認できます。

請願書

請願名 ○○○○に関する請願
紹介議員 米沢市議会議員 ○○○○（白署）
請願者 住所 〒
氏名（押印）
電話
年 月 日
米沢市議会議員 宛
請願の要旨又は理由



周辺地域の居住促進 人口定着に向けた対策について

よねざわいしんかい

米沢維新会代表

たか

高

はし

橋

か

嘉

もん

門

議員

周辺農村地域の居住 促進と農振除外の要 件緩和について

本市の周辺農村地域は、農家数の減少とともに核家族化・高齢化・人口減少が進出し、居住の減少により限界集落化してきている。将来、農村集落の様々な機能が低下し、このままでは生活環境も守れなくなる。

今後、農振除外の特例や居住に限った小規模な開発行為を、集落周辺や国・県道の沿線で将来的に周囲の農地に支障の及ぼさない範囲で、要件緩和などの柔軟な対応や、市長裁量の中で居住を促進し人口定着を図るような施策展開ができないか。

〔産業部長〕今後、農家数や農家人口の減少などにより、集落の維持機能の低下や遊休農地の拡大が懸念されるが、農振除外については、平成21年に国のガイドラインが改正され、除外の要件が厳しくなりました。本市では国営かん

がい排水事業の受益地は、事業完了後8年経過する平成34年頃までは農振除外できない状況です。

市長の裁量については、国営かんがい事業の受益地以外

の集落に隣接する農用地は除外できる可能性はありますが、国・県道などの幹線道路の沿線であっても、要件をすべて満たさないと除外できない状況にあります。

子育て支援対策の拡充は

核家族化の進展により保育需要が増加している状況において、待機児童の解消対策として、認可外保育所が補完的な役割を担っているが、特例として認可保育所の定員が増員された場合、その定員の増員が不確定なことから、認可外保育所では、入所しても途中で移動があるため運営上大きな影響がある様だ。認可外保育施設が、認可施設の補完という立場ではなく、ともに保育事業を支え共存して行くためにも、認可外保育所や認証保育施設などへの支援を拡充すべきと考えるがどうか。

〔健康福祉部長〕認可外保育施設は、待機児童の受け皿としての機能のみならず、个性的な保育が可能で様々な特徴を持ち、本市の重要な保育施設であると認識しております。その観点から、平成23年度は市の単独補助であります

「小規模保育施設事業費補助金」の制度の拡充を図りました。

た。また、平成24年度には「山形県認可外保育施設すこやか保育事業費補助金」の充実を受け、同時に2人以上の子供が入所の場合、保育料の負担を軽減する支援を実施してまいります。



元気に遊ぶ、保育所の子どもたち

空き家対策について

今冬の豪雪による空き家の倒壊や、周辺住民への危険な状態などが多数見受けられる。本市における空き家の実態と今後の対応策は。

〔建設部長〕空き家の件数は現時点で74件あり、うち市内の管理者は32件、市外の管理者は29件、管理者不明が13件となっております。

雪害対策としては、降雪前に現地調査を実施し、管理者に対し適切な管理の指導を行い、今後は、関係部署と連携し条例を制定する方向で検討を再開していきたいと考えております。

きもの議会

昭和54年2月の臨時会で開催されて以来、毎年3月定例会初日には『きもの議会』を開催しており、平成24年3月定例会で34回目となります。

これは、本市の基幹産業として、長年にわたり地域経済発展に貢献している米沢織物業界の振興と活性化を支援するため、本会議への出席者が『きもの』を着用し、会議に出席するものです。

当日は早朝から、米沢織維協同組合連合会の方にご協力いただき、着付けが行われます。





新潟県刈羽原発の危険性を 直視し、対応すべきではないか

にほんきょうさんとうしぎだん
日本共産党市議団代表

たか
高

はし
橋

ひさし
壽

議員

代表質問

災害に強いまちづくりを

新潟県刈羽原発は本市から約120kmに位置し、原発が7基。07年の中部地震では被災事故を起こしている。また、原子炉直下に活断層があることも指摘されている。

市は、こうしたことを直視して危険回避策をとる必要があるのではないかと。

〔市長〕東京電力に対する安全対策の取り組みにつきましては、新潟県や山形県とともに連携しての広域的な対応、働きかけをしていかなければならないと考えています。

国保税などの負担軽減で
安心してかかれる医療・
介護制度に

国保税の負担が重く、介護保険料も4月から引き上げられる。だれもが安心してかかれる医療や介護制度が求められている。そうした中、国保では、運営を市から県に移行（広域化）する計画になっているが、広域化して、国保税の負担は軽減になるのか。

〔市民環境部長〕国の方針で平成30年を目標に市町村国保が都道府県単位へ移行する計画になっています。

移行後の標準保険料率は、

運営主体の県が定めることとなりますが、国から具体的な試算方法は示されておりませんので、現段階では税額がどうなるかわからない状況です。

有機E1を支援する
際は、税金投入の妥
当性を明確に

有機E1関連事業へは市民の税金を投入してきた。それだけに、その妥当性について経済的な波及効果、雇用拡大などの実績を明らかにし、今後の支援策についても公表し、市民の合意が得られることが重要と考えるがどうか。

〔市長〕本市では、有機E1の研究支援に、平成23年度末までの支出予定額も含め、平成16年度からの8年間で、総額1億4805万円の支出を行っているところです。

支援の成果や今後の展望は、地域産業全体の波及効果が大きく、学生の就職・雇用の場の創出、地元採用社員の拡大が図られると考えています。

今後は、有機E1産業を中核とする産業集積は、経済波及効果も大きなものが見込まれることから、支援を続けて行かなくてはならないと考えています。

障がいを持つ子どもと親を
サポートする体制の強化を

障がいを持った子どもにとって「早期発見、早期療育」が重要と言われている。そのようなサポート体制が必要だが、どう考えているか。

〔健康福祉部長〕県立総合療育訓練センターにおいて、発達障がい児の専門的支援を行っているが、「受診待ち」の状況が長期化していることから、米沢市社会福祉協議会が県の委託を受け、ひまわり学園に発達相談の窓口を設け対応してきたところです。

24年4月からは法改正により障がい児支援を強めることになり、市内の関係機関でプロジェクトチームを立ち上げ「発達障がい児も含めた障がい児支援のあり方」について検討を始めたところです。



県の委託を受け発達相談の窓口となっている『ひまわり学園』

豪雪による
農業被害の状況視察

農業委員会から、今冬の豪雪被害に対する要望が建議されたことを受け、4月10日（火）、米沢市農林業振興議員連盟において、被害があつた農業地域（西山・大日向りんご団地、矢子堰、上郷地区堆肥保管施設）を視察しました。被害状況は甚大であり、生産者に対しては、早急に雪害対策を整え、支援していく必要性を認識しました。



西山・大日向りんご団地



上郷地区堆肥保管施設



代表質問

命と暮らしを守る 安心・安全なまち「米沢」を目指して

こうめい やま だ ふ さ こ
公明クラブ代表 山 田 富佐子 議員

米沢市防災会議に女性委員を 登用する考えについて

昨年12月の一般質問において、防災会議への女性委員の登用の必要性を要望したが、その後検討がなされたのか伺いたい。

〔総務部長〕現時点における女性委員は1名と少ない委員構成となっており、検討した結果、女性の登用だけではなく、関係機関や関係団体からも委員となることができるよう条例の改正案を3月定例会に提案をしています。

放課後児童クラブの 支援について

女性の社会進出や核家族化により、子育ての不安や、仕事と家庭の両立の負担等を考えると、放課後児童クラブの役割は重要である。また、本市において平成23年5月現在、23施設970名が利用し、障がいをもつ児童は20名利用していることから、国からの支援のほかに、本市独自の支援も必要と考えるがどうか。

〔健康福祉部長〕施設借り上げ料に対する補助率を70%から80%に拡充し、平成24年度予算に計上し支援の充実を

図って行きます。また、本市の独自の補助制度の制定は困難であり、障がい児受け入れ児童数に応じた補助制度を国に要望していきます。



多くの児童が通う、放課後児童クラブ

孤独死を防止するために

孤独死は、高齢化社会と人間関係の希薄化によりますます急増すると考える。本市において障がい者と暮らし家族、母子家庭、父子家庭、兄弟のみ世帯の把握はできているか。また地域と行政のネットワーク等の連携が必要と考えるがどうか。

〔健康福祉部長〕本市で把握している住民情報から、障がい者の世帯情報の判断は難しい状況にあります。地域との情報共有には慎重を期しながらも必要な支援が行われるよう

う、市のデーターを精査し、民生委員・児童委員・各種福祉サービス事業所、そして地域との連携のもと、世帯状況把握や危険回避などの方策について努力していきます。

単身高齢者の市営住宅 建設を要望する

新文化複合施設近くに作られる予定の、仮称まちなか歴史公園の代わりに、今後単身高齢者の増加など将来を見据え、単身高齢者の市営住宅建設を要望する。本市には、単身高齢者が入居できる市営住宅は8カ所あるが、林泉寺、金池団地以外の6カ所は、中心部から離れており、買い物や病院に行くのも不便な場所にある。そこで中心市街地の定住人口を増やすことや、近くに市立病院があることにより、高齢者が安心して在宅で生活できるモデル地区として、全国に発信できるまちづくりを進めてはどうか。

〔建設部長〕基本的には公営住宅は今後人口減少から増やさないという基本方針ではありますが、公営住宅の長寿命化計画を近々策定する予定であり、その中で再度議論していきたいと考えています。

議会を傍聴 してみませんか

本会議、委員会ともに、受付で住所、氏名などを記入するだけでなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

次回の定例会は6月に開催されます。



市議会のホームページ

会議録、市議会の概要、市議会だより、悪臭問題特別委員会の活動の様子などを紹介しています。また、本会議の様子を録画中継しております。アドレスは下記のとおりですのでぜひご覧ください。

<http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/gikai/gikaihome.html>

詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 22-5111 (内線 5623・5624)



代表質問

市政運営方針について

せいりんかい

政鱗会代表

やま

山

むら

村

あきら

明

議員

企業誘致について

最近のオフィスアルカディアへの企業誘致は、市内企業がほとんどで、これは企業誘致ではなく引越越しではないか。県外・市外の企業が本市へ移転し新しい雇用が生ずる形であるべきだ。関東近辺や市外の企業誘致の取り組みはどうなっているのか。

〔産業部長〕国内の企業誘致状況は、海外移転が急速に拡大しており、工場立地の最低条件として交通アクセス、ライフラインの他、その地域に連携協力できる企業が、どの程度あるかを重要視していると聞いております。企業誘致を進める前提には、地域内企業の転出を防ぐことも大切であり、地元企業が地元で大きく成長し、地域内が活性化し足腰の強い地域の産業構造ができることにより、市外・県外からの企業立地を呼び込む事が可能になると思います。また市内外企業にこだわらない誘致活動も大事と思っています。

雇用と産業創出について

本市は製造業の町。団塊の世代が退職の年齢となり、多くの熟練の製造業の方々も退

職となる。各業界や企業から開発要望やニーズを聞き取り、熟練工の方々に造っていただき新製品を開発し、本市の産業を伸ばすことで八幡原企業の受け皿になる。そのようなものに対する取り組みの姿勢をお聞きしたい。

〔産業部長〕多くの企業で、能力のある方々に嘱託的な身分で手伝って欲しいとのことのお話も聞いており、市も元氣プロジェクト、また、自動車産業の組織でもこのような方々を活用していこうという話もある。

大学では、シニアインストラクターとして、能力を生かし、養成講座を実施しております。

国道13号の4車線化

高速道路の仮インターチェンジを市内の渋滞箇所に近い所に設置要望をしているが、渋滞への対応策はどうしているのか。また国道13号の4車線化が、北は尾花沢市まで順調に進んでいるが、南は上山市まで南に進んでこない。県庁と米沢・置賜間の国道でトラブルがあると迂回路がない。高速道路の要望が前面に出ているために国道13号の4車線化はごまかされてきたの

ではないか。国への要望はどうなっているのか。

〔建設部長〕追加インターチェンジ設置に伴う渋滞緩和策は、国道13号から県道万世窪田線までの1・4kmの4車線化早期着工の要望活動を、平成23年度から行なっており、米沢高畠線の4車線化の早期着工も県に対して強く要望してまいります。米沢インターチェンジから西側2・4kmはインターアクセス道路として、4車線化工事が平成24年度完成の予定となっております。未整備区間の4車線化は引き続き要望してまいります。国に対しては山形河川国道事務所長、東北地方整備局長に要望しており、国会議員に対しては、重要事業について多々ありますので内部で検討したいと思っています。



早急な対応が望まれる国道13号の4車線化

車椅子利用者の方も傍聴できます

本会議場には、昇降機を利用して、車椅子利用者の方が傍聴できる席（付き添いの方を除き約5名分）があります。市役所正面玄関の総合案内にお声がけいただけますと、議会棟へ職員がご案内いたします。利用なさる方は、事前に議会事務局に連絡をいただけますと円滑にご案内することができます。

なお、定例会は6月、9月、12月、3月に開会される予定です。どうぞご利用ください。

● 議会事務局 TEL 22-5111（内線 5623・5624）





しらねざわ すみこ
白根澤 澄子
議員

介護保険料の値上げをおさへ、長寿を支える介護に

長寿を支えるために介護の充実が必要だ。しかし、介護保険法の改正は国民負担増と介護給付費の削減を目的としている。このままでは施設にも入れない、在宅でも暮らせない「介護難民」が生まれかねない。多くの方の、地域で暮らし続けたいという願いにこたえるために、市役所の地域包括支援センターと市内4ヶ所の地域支援センターの整備で、相

談体制を確立してはどうか。

〔市長〕各圏域に委託する地域包括支援センターを4ヶ所整備し、直営地域包括支援センターが担当圏域を持たない場合には、市が統括的役割を担い、総合的相談機能の充実を図っていききたいと考えております。

65歳以上の方の介護保険料が28・2%の大幅値上げになる。一般財源の投入で、せめて月5000円以内にする対策をとれないか。

〔健康福祉部長〕一般財源からの繰り入れは適当ではないものと考えております。



米沢市地域包括支援センター
(市役所内)



あいた みつてる
相田 光昭
議員

青少年を育成する環境と教育の推進について

青少年育成という大局的な観点から、本市の青少年育成をどのように考えているか。

〔市長〕様々な担当部署が連携を取り総合的な政策対応をしていかななくてはならないと考えております。

『子ども・若者育成支援推進法』への本市の取り組みはどうか。

〔健康福祉部長〕子ども、若者に対する各課の取り組みについて情報交

換を行うため、関係各課からなる、「子ども・若者育成支援に係る連絡会議」を開催し、理解を深めたところであります。最終的な到達地点としては、『子ども・若者支援地域協議会』の設定だと今は考えているところですが。

教育委員会として、連携を図りながら協議会設置に向けて積極的に取り組んでみてはどうか。

〔教育長〕青少年育成へのつながりを持ちながら、庁内委員会の設置の動きに向け、教育委員会として協力していかなくてはと思っています。



なかむら けいすけ
中村 圭介
議員

米沢市の財政予測について

米沢市まちづくり総合計画第4期実施計画では、平成24年度から平成26年度の市税収入額が平成23年度見込み決算額に対して減少傾向の予測となっているがその理由は。また、平成28年度までに14億5400万円もの公共施設等整備基金を取り崩すこととした理由と、今後の公共施設の建設や維持修繕に支障はないのか今後の見通しはどうか。

〔総務部長〕平成24年度において、



きむら よしひろ
木村 芳浩
議員

中学校武道必修化に向けた本市の指導内容について

本市が取り組む武道に対する学校教育において、どの武道を選択し、指導内容はどのようなものか。先生方は指導能力に達した資格を持っていないのか。武道の精神を理解した上で指導を行っているか。安全管理の徹底、事故防止マニュアルは作成されているのか。

〔教育指導部長〕平成24年度の第1学年・第2学年の武道で行う種目は

年少扶養親族に係る扶養控除の廃止による影響等から個人住民税は大幅な伸びを想定し、固定資産の評価替えによる固定資産税の大幅減や経済の先行き不透明感を反映した法人市民税の減少を勘案し全体として減額になると推計しました。公共施設等整備基金については、各年度の財源不足に補填していますが、将来一定額を確保し公共施設整備の備えにしたいと考えています。また、公共施設の建設、改修については今後、全庁的な検討が必要と考えています。



柔道を予定し、第3学年においても選択は柔道を行う予定です。市内8校中7校に有資格者の教員が配置をされており、生徒の関心・意欲・態度、技能の面、知識の面で目標を立て、現在指導計画の作成を進めております。安全が一番であり、武道は大きなケガにつながる危険性の高い種目でありますので、文部科学省の指導のもと、安全の確保・ケガの防止に配慮したカリキュラムを作成し、それに沿って指導を行うように各学校を指導してまいりたいと思っております。





こくほひろのぶ
小久保広信
議員

米沢を生かした新エネルギー

本市の森林面積は4万2137haで、市の面積の77%を占めている。この木材をどう生かしていくかが重要な課題である。

間伐材や製材くず、稲わら、もみ殻、果樹の剪定枝、庭木などの未利用のバイオマス資源をエネルギー化し、工業や農業に使うことで地域循環ができる。また、木質ペレットを本市で製造し、ペレットストーブや農業用ハウス暖房の普及と利用促進



たかはし
高橋 義和
議員

子育て支援と所得による学力格差対策について

子育ては経済的負担が多いことから、子供の医療費助成を小学校1年生まで引き上げたが、他市町村と比較して依然として低い状況にある。もっと拡充すべきだが、今後の方針はどうか。

〔市長〕「子供の医療費助成は、財政的な問題から、小学1年生まで拡充しました。今後も事業の重要性を考え、少しずつ拡大していく考えでお

を図るべきと考えるがどうか。

〔産業部長〕平成24年度から、みどり環境交付金事業を活用し、市有林の間伐材をペレット化するなどを推進し、今まで林地に残されていた未利用間伐材等の木質バイオマスを、より積極的に利用したいと考えています。

ペレット燃料ストーブやボイラーの普及、未利用間伐材の木質バイオマス利用の推進に力を入れて行くことと、ペレット生産のコスト軽減の研究に努めてまいります。



木質ペレットを燃料とするストーブ

ります。

文部科学省は、「所得を始めとした様々な家庭環境の差異が学力の差や進学機会に影響を与えている」という調査結果を出している。本市の教育委員会としての認識と対策について伺いたい。

〔教育指導部長〕家庭環境によって、本来持つて生まれた能力や個性を発揮する機会が奪われることがあるとしたら大きな問題だと思っています。本市においては、副

読本などは、個人負担をなくし、保護者の経済的負担を少なくするよう努力しております。



さいとうちえこ
齋藤千恵子
議員

子育てしやすいまち・米沢市を目指して

「仕事と子育ての両立支援」について、仕事と育児・家事との両立が困難であることが就業できない大きな要因の一つとなっており、本市として、企業が取り組む「次世代育成支援策推進法」に基づいての対策と、現状と今後の取り組みについてはどうか。

〔市長〕「米沢市次世代育成支援後期行動計画」の実施にあたっては、全



すずきあきお
鈴木 章郎
議員

新文化複合施設整備事業建設用地について

平成24年度の一般会計予算で、新文化複合施設整備費2億6742万円が計上され、内容は基本設計、実施設計、用地取得等であるが、なぜ、ポポロ館跡地に新図書館建設を決定したのか、その経緯と根拠は。

〔企画調整部長〕建設予定地の選定に当たっては、当時ポポロビルの所有者より中心市街地活性化事業への協力の申し出をいただき、都市再生

庁的な連携のもとに、毎年その実施状況の確認と評価を行いながら、それぞれの事業を確実に実施していきたいと考えています。

〔産業部長〕本市においても、少子化が進んでいる現状です。企業における育児休業制度の充実と、育児休業をとりやすい社会環境づくりを進めていくことが、少子化対策としても重要であるため、今後とも企業に対しての啓発活動などについて積極的に推進していきます。



整備計画を策定する中で、ポポロビルの老朽化問題や、まちの広場との連携活用という視点で、当該用地が最適であると判断をしました。

図書館に行かなくてもインターネットで電子書籍を貸し出すシステムに移行している昨今、数十年先を見据えた図書館建設とは思えないが。〔市長〕必ず100年たっても大変良いものができたというふうに、後々の市民の方からも納得いただけるものと強く信じている次第です。市民が主役になり市長が主役にならないように願う。





工藤 正雄
くどう まさお
議員

本市の豪雪対策について

道路除雪の充実に市民モニターを募り、豪雪対策に知恵を出していただいているかどうか。また、除雪車に業者名・運転者名を表示し、優良業者の表彰を提案する。

〔市長〕 除雪の質の向上を図るため、

昨年度からオペレーターの方々の勉強会を開催しております。

この市民モニター制度の実施に向けて検討していきたいと考えております。



雪下ろししやすい屋根の改修工事に対する助成をできないか。

〔建設部長〕 改修する方が少ないと予想され考えてはいないところです。雪下ろしが不要な屋根の改修への助成であれば制度内容や方法など調べながら研究させていただきます。

消防の水利施設は十分か。

〔消防長〕 豪雪の場合は非番職員による除雪も行い、周辺地では消防団員にお願いし消防水利の確保に努めています。水利施設は必要性を考慮し毎年新設し、10年前と比べると、100基以上新設になっています。

米沢市議会に関するアンケート調査 結果報告

調査実施の背景と目的

本市議会では、議会改革の必要性を認識し、先進地における取り組み等の調査・研究を基に議論を重ねてまいりました。

その中で、これまで以上に議会の公平性・透性の確保を図り、「市民の皆様への負託に応えられる議会」「市民の皆様が開かれた議会」「市民の皆様との活発な意見交換を基に政策提言を行っていく議会」などを目指して、議会の基本的運営事項を定めた「議会基本条例」を制定することにいたしました。

そこで本市議会では、市民の皆様の本市議会に対する意向を把握することにより、市議会改革の方向性を探り、また、適切な「議会基本条例」の内容とするために、平成24年1月19日から2月3日までの期間、市民の皆様を対象に『米沢市議会に関するアンケート調査』を実施いたしました。

今回のアンケート調査に際し、その趣旨をご理解いただき402名の方からご回答をいただきました。ご協力いただきました市民の皆様、誠にありがとうございました。

調査の方法

- 1 調査地域 米沢市全域
- 2 調査対象 20歳以上の米沢市民
- 3 対象者数 1,500人（男性749人、女性751人）
- 4 抽出方法 男女別、年齢比率により住民基本台帳から無作為抽出
- 5 調査方法 郵送による無記名アンケート調査
- 6 調査期間 平成24年1月19日～2月3日

調査の方法

- 1 発送数 1,500名
- 2 回収数 402名
- 3 回収率 26.8%

市民委員を募集します（議会基本条例検討委員会）

本市議会では、議会基本条例の制定に向け検討を進めております。そこで、市民の方にご意見等をお伺いするため、上記委員会の市民委員を次のとおり募集することにいたしました。

- 1 対象 5月1日現在で20歳以上の市内に住所を有する方
- 2 期間回数等 6月・7月の2か月間で4回程度、平日の10時から16時までの間で2時間程度。
- 3 人数 2名程度
- 4 謝礼 1回につき5,500円

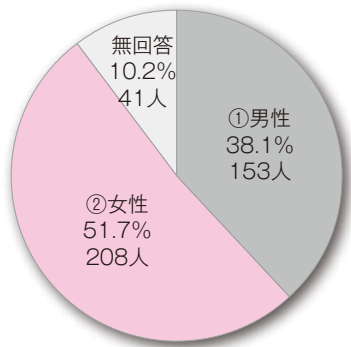
※応募・選考等詳しくは、平成24年5月18日まで議会事務局へご連絡ください。TEL0238-22-5111（内線5621）

集計結果

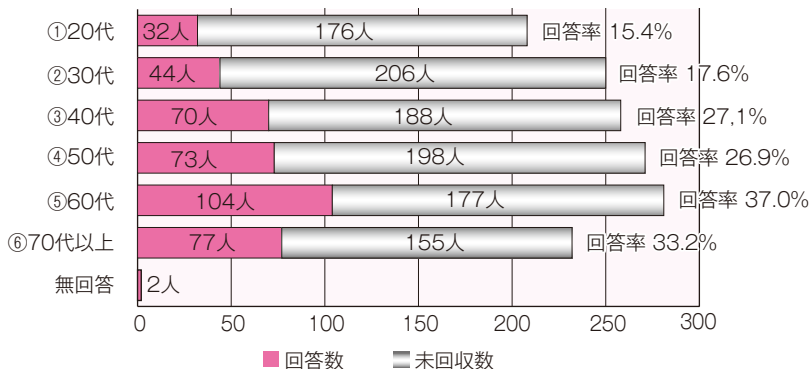
問1 あなたの性別と年齢をお聞かせください。

402 人の方からご回答をいただきました。回答者に占める女性の割合が51.7%となり、年代が高くなるにつれて回答率も高くなっています。

問1 性別と年齢
(性別)



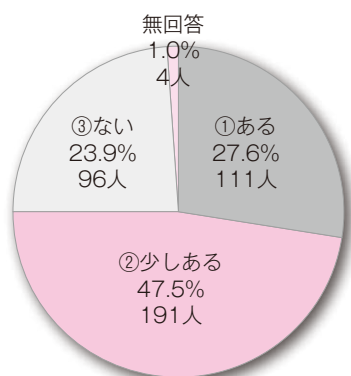
問1 性別と年齢
(性別)



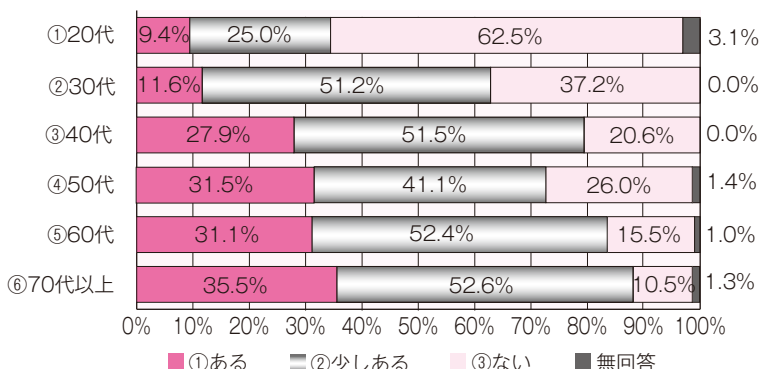
問2 あなたは、市議会に関心がありますか。

「ある」「少しある」を合わせると 75.1%の方が市議会に関心を持っておられます。

問2 市議会に関心があるか。



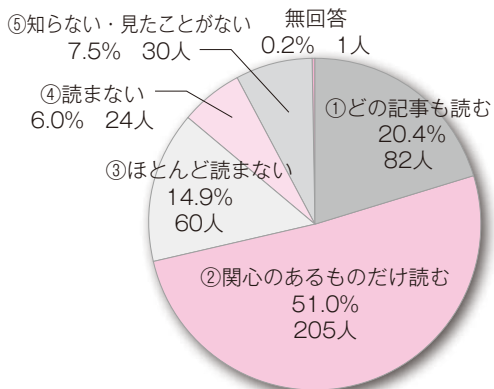
問2 市議会に関心があるか。



問3 米沢市議会では年4回（5月・8月・11月・2月）市議会だよりを発行していますが、市議会だよりを読んだことがありますか。

「どの記事も読む」「関心のあるものだけ読む」を合わせると、71.4%の方が何らかの関心をもって読んでおられます。

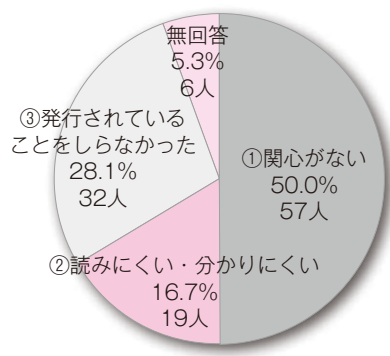
問3 市議会だよりを読んだことはあるか。



問4 問3で「ほとんど読まない」「読まない」「しらない・見たことがない」と答えられた方は、どのような理由で読まないのでしょうか。

「関心がない」が50%と高く、「発行されていることを知らなかった」が28.1%と次いで高くなっています。

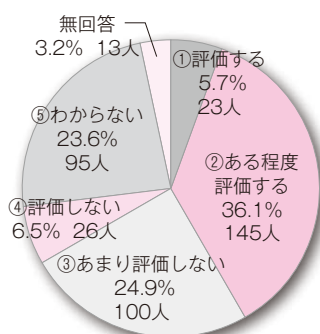
問4 問3で③、④、⑤と答えられた方は、どのような理由で読まないでしょうか。



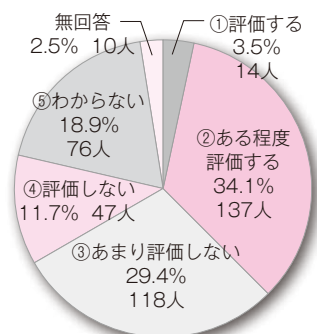
問5 あなたは、市議会が担っている役割についてどのように評価しますか。

(1) 行政へのチェック機能、(2) 市民の要望に応じている議会、(3) 市民とのパイプ役、(4) 政策の提言の4項目において、「評価する」「ある程度評価する」を合わせて30%～40%となり、いずれも20%前後の方が「わからない」と答えられました。

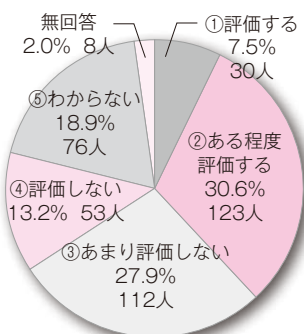
(1) 行政へのチェック機能



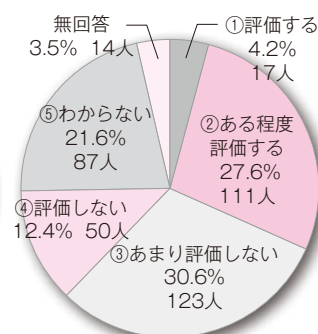
(2) 市民の要望に応じている議会



(3) 市民とのパイプ役



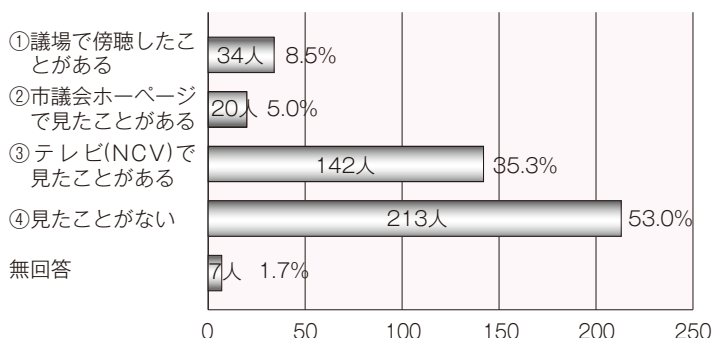
(4) 政策の提言



問6 あなたは、市議会の本会議などを見たことがありますか。(複数回答可)

「テレビ(NCV)で見たことがある」が35.3%と圧倒的に多く、しかしながら半数を超える53.0%の方が「見たことがない」と答えられました。

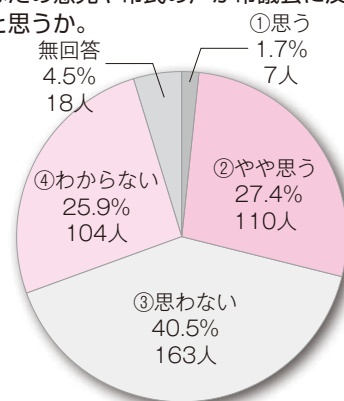
問6 市議会の本会議などを見たことがあるか。(複数回答可) (n = 402)



問7 あなたの意見や市民の声が市議会に反映されていると思いますか。

「思わない」が40.5%と多く、「わからない」が25.9%と比較的高い割合となりました。

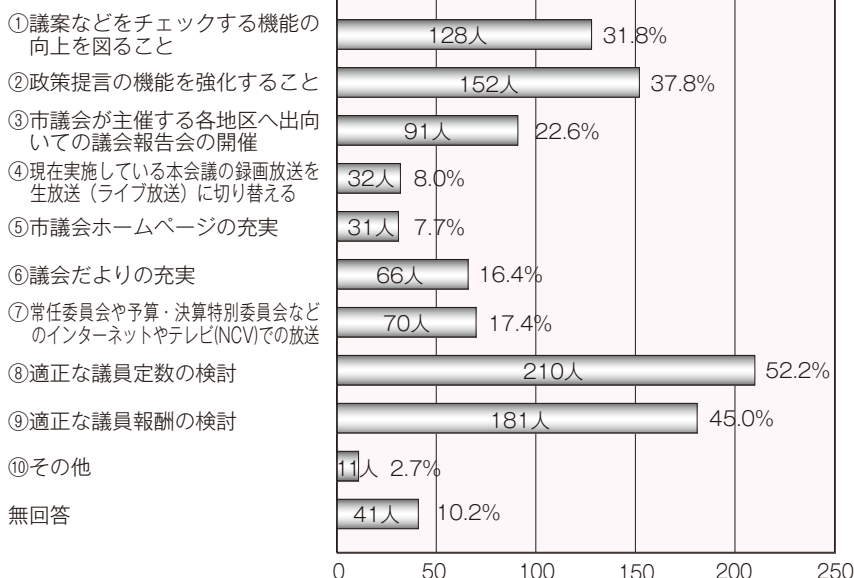
問7 あなたの意見や市民の声が市議会に反映されていると思うか。



問8 あなたは、市議会が取り組む課題は何だと思いますか。(複数回答可)

「適正な議員定数の検討」が52.2%、「適正な議員報酬の検討」が45.0%と高い割合となりました。また、「政策提言の機能を強化すること」「議案などをチェックする機能の向上を図ること」が30%台と、その課題への取り組みが求められているようです。

問8 市議会が取り組む課題は何だと思うか。(複数回答可) (n = 402)



常任委員会

3月6日～8日に開かれた常任委員会から
質疑の主なものをお知らせします。

総務文教

▼米沢市スポーツ推進審議会 条例の設定について

本案は、スポーツ振興法の全部改正に伴い、スポーツ推進審議会の運営に関し必要な事項を定めようとするものです。

〔委員〕スポーツ推進審議会の委員について、競技から離れて何年も経つという方よりも、競技に今携わっている方々を選ばないか。

〔体育主幹〕現場をよく知っている方々を検討していきたいと考えております。



▼平成23年東北地方太平洋沖地震による災害に係る被災者等に対する入湯税の課税の特例に関する条例の廃止について

本案は、東日本大震災の被災者等に係る入湯税の課税免除措置の期間が終了するため改正しようとするものです。

〔委員〕市内の温泉地での、避難者の数は。

〔危機管理主幹〕山形県で把握している数字で、平成24年2月23日現在で、旅館、ホテルに二次避難で宿泊している方は42名いらっしゃいます。

民生

▼米沢市介護保険条例の一部改正について

本案は、介護保険法で3年ごとに見直すこととされている介護保険の保険料率の改定を行うおうとするほか、規定の

整備を図ろうとするものです。
〔委員〕要支援、要介護を予防するためにやっている事業及び啓蒙については。

〔高齢福祉課長〕元氣な方を対象として、できるだけ健康を保っていただくために開催している一次予防事業、また、介護認定を受けておられないものの、足腰その他いろいろな部分で、このままでは介護を必要とする状況になる恐れが高い方を対象として行う二次予防事業があります。

二次予防事業については、チェックリストを送付して対象者の把握に努め、対象者には、運動機能向上、栄養改善、口腔ケア等の通所事業、訪問事業を実施しております。さらに、要支援一、二の方に、介護保険から提供する介護予防サービスなどを実施しております。

〔委員〕高齢者が増加し、介護保険料が値上がりしていく中で、体力が低下してきた方が徐々に出不精になり、要支援、要介護になっていくのが現状なので、これからは、先手を打って予防することが、一層重要になると考えられることから、予防事業への参加についての啓蒙に力を入れていただきたい。

産業建設

▼米沢市人工芝サッカー場グラウンド建設工事請負契約の締結について

本案は、本市のスポーツの推進を目指し、人工芝サッカー場グラウンド建設工事を実施するものです。

〔委員〕大会の規模によつては、観客数は1000人を超すことが見込まれ、トイレについては、ハーフタイムなどの休憩時に集中すると思われる。現在のトイレの計画数では混雑することが予測されるが、その対応について検討すべきでないか。

また、車椅子を利用される



介護予防事業『よねざわ元氣塾』の様子

方用の観戦スペースを確保すべきでないか。

〔教育管理部長〕大会の規模に応じて仮設トイレの設置など臨時的な対応を図ってまいりたいと考えております。

〔都市計画課長〕トイレ数の増加を含め、車椅子利用者の観戦者スペースなど各種要望の実現については、設計の変更も必要となることから、構造的な問題や予算的な面などを踏まえながら、その可能性について検討してまいります。

〔委員〕施設周辺には熱中症対策とあわせ、花と樹木に覆われたまちづくりの事業の一貫として、景観上の観点からも適切な樹木や芝の植栽がなされるよう要望する。



平成24年10月に完成予定の人工芝サッカー場用地

予算特別委員会

〔委員〕平成23年度の防犯灯・公衆街路灯のLED化の実績は。

〔環境生活課長〕新規で設置したのが39基、既存の蛍光灯をLED灯に換えたものが36基の75基です。

〔委員〕循環バス南回り路線延伸の可能性は。

〔地域振興主幹〕南回り路線は運行が開始されたばかりであり、1年間状況を見ないと利用状況が把握できないので、新年度早々から南回り路線以外にも含めて、検討してまいりたいと考えております。

〔委員〕外国人の通称名変更は、形式的要件を満たしていれば受理せざるを得ず、犯罪等の温床になり得る可能性もあるので、何らかの基準を設けるべきでないか。

〔市民課長〕他都市の事例を研究させていただいて、研究検討してまいりたいと考えております。

〔委員〕県内他市の児童養護施設では、一人部屋の整備が行われているが、本市での対応はどうか。

〔こども課長〕興望館を運営している緑成会からも要望を受けているところでありますが、現施設で可能かどうかという検討も必要ですので、今後の課題とさせていただきます。



1人部屋の整備が望まれる興望館

〔委員〕職員の時間外勤務の20%縮減は可能か。

〔総務課長〕組織の見直し、業務の見直しを引き続き行い、無駄な業務は省き、簡素化できるものがあればそれに取り組んでまいりたいと考えております。

〔委員〕斎場の老朽化により収骨室が雨漏りする状況であることから、大規模な修繕、

予算特別委員会は6日間にわたり開催し、平成23年度補正予算6件と平成24年度当初予算13件（一般会計1件、特別会計10件、企業会計2件）のあわせて19件を審査し、原案のとおり可決すべきものと決まりました。その審査の中から、平成24年度予算に対する質疑の主なものをお伝えします。

改築が必要でないか。

〔環境生活課長〕建物自体が老朽化しているので、大掛かりな修繕、改築が必要と思っておりますが、今回のまちづくり総合計画に盛り込むことができなかったもので、次期計画に盛り込み、計画的に修繕していくよう検討してまいりたいと考えております。

〔委員〕猿害対策として、モンキードッグの活用は。

〔農林課長〕現在取り組んでいる万世・山上地区とともに、平成24年度は新たに南原・三沢・田沢地区を加え、生息調査と追い払いを実施したいと考えております。

〔委員〕「おもしろなショップ」を本市農業の振興に結びつくものにするために、ウェアショップ等も含め、販売方法を検討すべきでないか。

〔農林課長〕米沢産農産物の認知度を上げながら、販路拡大を図るため、ネット販売も展開していきたいと考えております。

〔委員〕大手企業が有機EL照明に参入し製品化している

が、米沢市としての優位性はどのように考えるか。

〔商工観光課長〕ルミオテックが進めているのは、照明用有機ELパネルの量産化であります。世界的にも品質の面では優位性を保っております。市内の企業のみならず、デザイン等について手を上げてきている多くの小さな企業がありますので、そういった特殊分野での開発が米沢では進むものと考えております。



世界の三大デザイン賞の一つ「レッドドット・デザイン賞」を受賞した有機EL照明「HANGER」

も継続すべきではないか。

〔委員〕平成23年度まで実施してきた愛の商品券事業や住宅リフォーム事業等については、団体育成を図る観点からも継続すべきではないか。

〔土木課長〕距離単価と時間単価それぞれに長所短所があるので、今後、検討させていただきたいと考えております。

〔委員〕災害時において、要援護者を保護するための福祉避難所は重要な施設であることから、地域防災計画の見直しを行い、ハード、ソフト両面での体制づくりに努めるべきと考えるがどうか。

〔危機管理主幹〕福祉避難所の指定については、現在、社会福祉課及び高齢福祉課と協議を行っているところです。

3月定例会で審議された議案等

議案番号	件 名	結果
報第1号	専決処分事件の報告について	了承
承第1号	専決処分事件の承認を求めることについて	承認
諮問1号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
議第1号	よねざわ市民ギャラリーの指定管理者の指定について	可決
議第2号	米沢市市税条例の一部改正について	可決
議第3号	平成23年東北地方太平洋沖地震による災害に係る被災者等に対する入湯税の課税の特例に関する条例の廃止について	可決
議第4号	米沢市消防本部等設置条例等の廃止等について	可決
議第5号	米沢市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	可決
議第6号	米沢市中央公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第7号	米沢市スポーツ推進審議会条例の設定について	可決
議第8号	米沢市図書館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第9号	米沢市公有地の拡大の推進に関する法律第4条第2項第9号に規定する政令で定める規模の特例に関する条例の設定について	可決
議第10号	米沢市印鑑条例及び米沢市手数料条例の一部改正について	可決
議第11号	米沢市交通指導員設置条例の一部改正について	可決
議第12号	米沢市社会福祉法人助成の手続に関する条例の一部改正について	可決
議第13号	米沢市障がい者施策推進協議会条例の一部改正について	可決
議第14号	米沢市介護保険条例の一部改正について	可決
議第15号	米沢市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決
議第16号	米沢市暴力団排除条例の設定について	可決
議第17号	権利の放棄について	可決
議第18号	米沢市人工芝サッカー場グラウンド建設工事請負契約の締結について	可決
議第19号	特定事業（米沢市公営住宅塩井町団地建替等事業（1号棟）事業契約の一部変更について	可決
議第20号	米沢市市営住宅条例の一部改正について	可決
議第21号	米沢市下水道条例の一部改正について	可決
議第22号	平成23年度米沢市一般会計補正予算（第8号）	修正可決
議第23号	平成23年度米沢市後期高齢者医療費特別会計補正予算（第3号）	可決
議第24号	平成23年度米沢市下水道事業費特別会計補正予算（第2号）	可決
議第25号	平成23年度米沢市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議第26号	平成23年度米沢市立病院事業会計補正予算（第2号）	可決
議第27号	平成24年度米沢市一般会計予算	可決
議第28号	平成24年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計予算	可決
議第29号	平成24年度米沢市後期高齢者医療費特別会計予算	可決
議第30号	平成24年度米沢市介護保険事業勘定特別会計予算	可決
議第31号	平成24年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計予算	可決
議第32号	平成24年度米沢市青果物地方卸売市場費特別会計予算	可決
議第33号	平成24年度米沢市下水道事業費特別会計予算	可決
議第34号	平成24年度米沢市農業集落排水事業費特別会計予算	可決
議第35号	平成24年度米沢市物品調達費特別会計予算	可決
議第36号	平成24年度米沢市南原財産区費特別会計予算	可決
議第37号	平成24年度米沢市三沢東部財産区費特別会計予算	可決
議第38号	平成24年度米沢市水道事業会計予算	可決
議第39号	平成24年度米沢市立病院事業会計予算	可決
議第40号	平成23年度米沢市一般会計補正予算（第9号）	修正可決
議第41号	米沢市副市長の選任について	同意

〔委員〕 東日本大震災で生じた瓦礫を市内最終処分場で受け入れる場合の放射性物質の検査状況は。

〔環境生活課長〕 放射性セシウムの分析は、排出する自治体側で行っており、その結果が基準値以下であれば受け入れている状況です。また、受け入れ先の市内最終処分場については、山形県が抜き打ち検査等を行っており、その際には本市も同行しております。

〔委員〕 福島県から本市へ避難されている方々は、住居の確保に最も不安を抱えている

ことから、国・県に対して住宅関連の支援継続方について強く要望するべきでないか。

〔市長〕 当分の間は本市の雇用促進住宅、民間アパートに公費で居住できるように、国・県に強く求めていかなければならないと考えております。

〔委員〕 新図書館の整備においては、図書館の最大の魅力である本や資料の充実を図り、開架図書を増やすとともに、本に囲まれた魅力ある図書館としていただきたいがどうか。

〔文化課長〕 できるだけ開架

冊数を多くしたいと考えておりますが、スペースの関係上、開館時には15万冊程度を予定しております。また、プロポーザル案でご覧いただいたような、本に囲まれた空間を想定しております。

〔委員〕 理工系離れ解消のために、理工研修センターの充実が重要であり、予算の増額が必要と考えるがどうか。

〔教育指導部長〕 理工研修センターには、これまで積み上げてきた備品や薬品等がそろっており、それを各学校に提供しています。今後は、高校との連携をうまくはかつて

いきたいと考えております。



理工研修センターで開催された中学生科学教室

〔委員〕 中学校体育の武道必修化において、武道経験のある教諭がいなかった場合は外部の指導者を招聘し、子供たちが安全に授業を受けられるよう

にすべきと考えるがどうか。

〔教育指導部長〕 学校によって専門の担当者がいない場合は、体育実技派遣事業もあるので、それらも含めて校外の指導者を招聘し、子どもたちの安全には万全を期したいと考えております。

〔委員〕 新設される人工芝サッカー場にはオストメイト用のトイレを設置すべきと考えるがどうか。

〔教育管理部長〕 設計変更は間に合いませんでしたので、多目的トイレの中に設置する等、追加工事で検討いたします。

3月定例会で審議した請願の結果は次のとおりです。

採 択

◆民・官協働事業による斜平山一帯の 「トレッキングゾーン」整備を求める請願

斜平山保全活用連絡協議会（斜平保活協）
（会長 石栗 正人 外15名）

不採択

◆「脱原発」政策の実行を求める 意見書提出方請願

（米沢地区平和センター 議長 堀内 勉）

スポット

悪臭の改善に向けて 更なる努力を続けていきます。

悪臭問題特別委員会では、法律の規定に基づき、議会の立場から悪臭防止対策等について、専門家（臭気対策を専門とするコンサルタント）に調査を委託し、専門的見地から助言を得るための調査を実施しようと考えています。

この調査の速やかな実施に向け、3月定例会の委員会では、堆肥製造事業者を参考人として招致し、調査への理解と協力を求めました。

堆肥製造事業者では臭気の更なる低減に向けて脱臭装置の増設を検討しているところですが、委員会としても専門家からの意見をお伺いし、脱臭方法について知識を深め、より効果のある脱臭方法について更なる検討をしてまいります。

一方の養豚事業者については、当局から悪臭改善に向けた計画が提出されたとの報告がなされました。その内容は、今年の4月1日から、2階建て豚舎での生産を完全に終了し、平成25年3月までに2階建て豚舎での生産を完全に終了し、農場全体の飼育頭数を約6500頭から約3500頭へ生産規模を縮小し、発生臭気の総量を相当程度減少させたいとするものでした。

養豚事業者のこのたびの改善計画は、企業として大きな決断であるとの認識し、評価をしたいと考えているところです。

両事業者に対しては、繰り返し申し上げてきたところですが、移転の可能性を含め、臭気の高減に向けて、今後とも真摯な態度であらゆる方策を検討されるよう望みます。



市議会6月定例会 日程（予定）のお知らせ

6月8日 開会（本会議）

12日 一般質問

13日 一般質問

14日 一般質問

15日 総務文教常任委員会

18日 民生常任委員会

19日 産業建設常任委員会

20日 悪臭問題特別委員会

21日 予算特別委員会

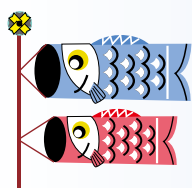
26日 最終日（本会議）

※請願の提出期限は6月1日（金）午後5時です。

日程は変更されることがありますので、傍聴の際は議会事務局までお問い合わせください。

☎22-5111

（内線5623・5624）



あ と が き

今冬は、クリスマス寒波から4月まで、厳しく長い冬でした。吾妻の『白馬の騎士』も鮮明に現れず、雪解けも遅れ春の農作業も心配されます。しかし、桜前線は着実に北上し、桜花爛漫の上杉まつりが待ち遠しい季節となりました。

就職・入学など新しい出会いの中で新年度がスタートしましたが、本市には昨年の東日本大震災による福島からの3800人もの避難者が不自由な生活を送っており、また、原発事故の風評による影響も残っております。しかし震災や豪雪という苦難を乗り越え、必ず訪れる暖かな春や、明るい将来に向かって前進して行けるものと思います。

市議会としても、本市の人口減少・少子高齢化を踏まえ、子育て支援や産業振興、未来の人づくりのための教育振興に力を注ぎ、『市民にやさしい』『市民と協働』のまちづくりに向けて努力していきます。

【編集委員 高橋嘉門】